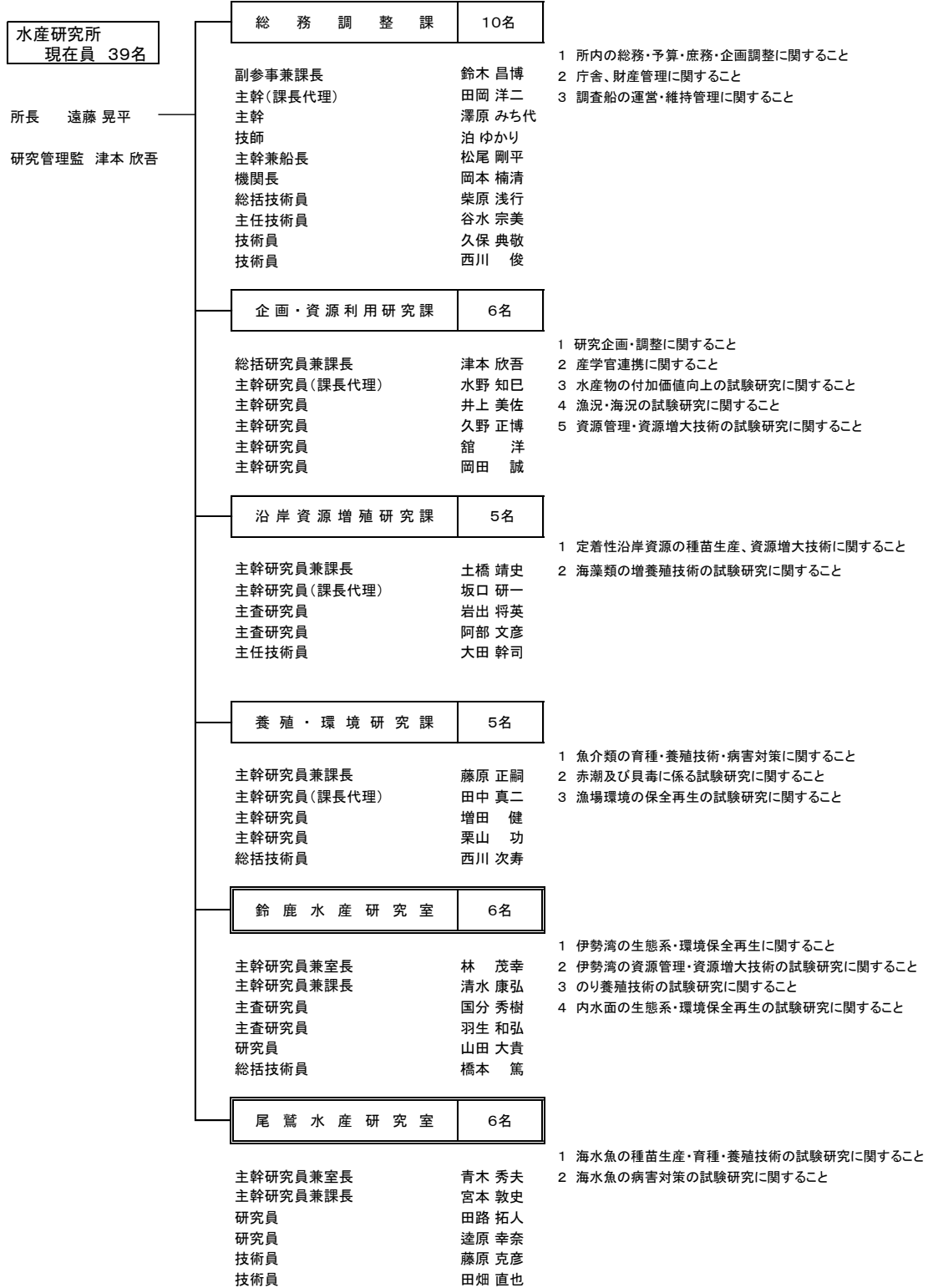


平成28年度

組織・人員配置等 事業概要

三重県水産研究所

平成28年度 水産研究所組織体制と事務分掌



平成28年度 水産研究所 事業概要

県単試験研究費

事業名 新規事業はアンダーライン表示	事業概要	担当	実施年度
(施策 31104) 水産技術の研究開発と移転			
●水産関係県単経常試験研究費			
1- ① <u>(新規)アユ資源回復のための放流効果向上対策事業</u>	アユの放流効果を向上するため、カワウ被害軽減、冷水病対策等に取り組む。	鈴鹿水産研究室	H28~30
② 英虞湾漁場環境調査	英虞湾の水底質環境ならびに餌料プランクトンや赤潮プランクトンの消長等を調査し、英虞湾プランクトン速報として関係機関に情報提供するとともに、漁場環境の長期変動を把握する【志摩市補助】。	養殖・環境研究課	H25~29
③ 革新的イセエビ幼生飼育技術の開発	イセエビ幼生飼育の安定化と効率化を進めるとともに、抗生物質を使用しない飼育技術を開発する。	沿岸資源増殖研究課	H26~28
④ 伊勢湾の複合型藻類養殖技術開発事業	伊勢湾での青ノリ養殖の適地把握や混入防止技術開発、青ノリ養殖による複合経営の費用対効果の検証を行い、複合型藻類養殖の技術開発を目指す。	鈴鹿水産研究室	H27~30
●みえの養殖水産物計画生産体制構築事業費			
2- ① <u>みえのもうかる養殖ビジネスモデル確立事業</u>	最適な複合養殖の組合せ(ポートフォリオ)とその経営改善効果を養殖業者に提示するとともに、経営改善効果を把握するための実証試験を行う。複合養殖の対象種について、コスト削減など養殖生産上の課題を解決するための技術開発に取り組む。	尾鷲水産研究室	H26~28

競争的資金等外部資金

事業名 新規事業はアンダーライン表示	事業概要	担当	実施年度
●水産業技術高度化研究開発推進事業			
3- ① <u>研究基盤向上</u>	外部評価委員による研究評価委員会開催、調査設備等修繕、試薬廃棄などを実施する。	総務調整課/企画・資源利用研究課	H17~
② 伊雑の浦環境改善技術効果把握調査	アオサノリの生産量が減少した伊雑の浦において、現在の漁場環境においても生産可能な漁業種類を検討する【志摩市委託】。	養殖・環境研究課	H25~28
③ 二次的自然「里海」の短寿命生態系におけるブルーカーボン評価に関する研究	代表的な閉鎖性海域である伊勢湾、東京湾、大阪湾において、比較的寿命の短い海藻や貝類等によって吸収される二酸化炭素(CO2)を定量化し、「ブルーカーボン」として評価できるかを検討する【環境省委託】。	鈴鹿水産研究室	H26~28
④ レギュラトリーサイエンス新技術開発事業	従来の貝毒監視体制の問題点を洗い出し、新たな貝毒監視体制へ更新するため、簡易プランクトン採集方法および簡易貝毒検査法を検討する【農林水産省消費安全局委託】。	養殖・環境研究課	H26~28
⑤ アサクサノリ製品の品質管理・評価のための技術開発	アサクサノリの板ノリ製品中のアサクサノリ含有量を定量化するための手法を検討する【海苔増殖振興会委託】。	鈴鹿水産研究室	H26~28
⑥ アサリ資源回復のための母貝・稚貝・生育場の造成と実証	アサリの産卵に適した天然漁場や造成漁場に、稚貝場や生育場から採集した稚貝を移植し、アサリ資源の回復を目指す【水産庁委託】。	鈴鹿水産研究室	H27~29
⑥ 二枚貝の養殖等を併用した高品質なノリ養殖技術の開発	二枚貝養殖によるノリへの栄養塩供給量の推定手法とノリの生理状態評価手法の開発に取り組む【水産庁委託】。	鈴鹿水産研究室	H27~30
⑦ マハタ種苗生産効率向上研究	マハタ種苗の形態異常の低減技術を開発する【水産振興事業団委託】。	尾鷲水産研究室	H27~29

競争的資金等外部資金(続き)

事業名 新規事業はアンダーライン表示	事業概要	担当	実施年度
⑧ アサリの陸上飼育に関する研究	中間育成施設の陸上水槽を活用し、アサリの天然種苗を夏季から秋季までの長期間、大量飼育する技術を開発する【水産振興事業団委託】。	鈴鹿水産研究室	H27~29
⑨ 新技術による地場種苗を活かしたマガキ養殖システムの開発	牡蠣殻固形物等で採苗された地場種苗を活用し、短期間での高品質マガキ生産を目指す【農林水産省農林水産技術会議委託】。	養殖・環境研究課	H27~28
⑩ (新規)イセエビ類の増養殖に用いる稚エビ生産技術の開発(応募中)	イセエビ幼生飼育の実用化に不可欠な技術として、日本で初めて開発した人工餌料の改良等を水産総合研究センターとの共同で実施する【科学技術振興機構等へ応募中】。	沿岸資源増殖研究課	H28
⑪ (新規)高品質真珠生産技術の開発	国内の主要真珠生産漁場(三重県では英虞湾)において、高品質な「花珠真珠」を生産するため、ピース貝選抜等の技術開発を行なう【農林水産省農林水産技術会議委託】。	養殖・環境研究課	H28~30
⑫ (新規)輸出用真珠の生産技術開発事業(応募中)	輸出用としての需要があるものの、生産量の少ないゴールド系真珠について、安定的生産技術を開発する【科学技術振興機構等へ応募中】。	養殖・環境研究課	H28
⑬ (新規)新養殖魚種の導入に向けた生育特性の把握に関する研究	複合養殖の対象種となるような新規魚種の養殖特性を把握し、導入可能性を検討する【岡三加藤文化財団委託】。	尾鷲水産研究室	H28
●資源評価調査事業費 4- ① 資源評価調査事業	漁獲統計資料の解析、生物測定、調査船調査の結果により、イワシ類・アジ・サバ類・ブリ・マダイ・スルメイカ・トラフグ等の資源量を評価し、漁獲可能量(漁獲割当量)算出の基礎資料を収集する【水産研究・教育機構委託】。	企画・資源利用研究課	H12~
●日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業費 5- ① 日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業	マグロ類やカツオなどの高度回遊性魚類について、国際的な資源管理体制の確立が必要となっている。そのため、国を中心とした全国組織のもとに、漁獲データや生物調査結果等の収集・解析を行う【水産研究・教育機構委託】。	企画・資源利用研究課	H13~
●熊野灘沿岸域における有害プランクトン優占化機構に関する研究費 6- ① 熊野灘沿岸域における有害プランクトン優占化機構に関する研究	熊野灘沿岸域における有害プランクトンの監視および長期的変遷と発生環境を把握すると共に、有害赤潮のシード供給メカニズムを解明し、有害赤潮による漁業被害の防止に資する【水産研究・教育機構委託】。	養殖・環境研究課	H25~29
●新しい真珠養殖技術実証化事業費 7- ① 新しい真珠養殖実証化事業費	光沢の良好な真珠を生産するため、養殖条件の解明やアコヤガイ(スーパーピース貝)の作出や改良を行うとともに、養生技術の効率化と普及を実施し、三重県の真珠養殖を支援する【みえの真珠養殖再生支援協議会委託】。	養殖・環境研究課	H24~28

管理費等

事業名 新規事業はアンダーライン表示	事業概要	担当	実施年度
●水産業試験研究管理費 8- ① 管理費	水産研究所の施設の管理運営を行う。	総務調整課	
② (新規)水産業研究施設機器整備費(大規模臨時的経費)	船舶安全法に基づき、水産研究所調査船「あさま」の定期検査を行い、甲板部や機関部の機器点検、補修及び整備を実施する。	総務調整課	H28

水産資源課執行委任

事業名 新規事業はアンダーライン表示	事業概要	担当	実施年度
(11302) 農水産物の安全・安心の確保			
●消費者に安心される養殖水産物の生産体制整備事業費（水産資源課執行委任）			
9- ① 養殖衛生管理体制整備事業	飼育管理技術の改善と水産用医薬品の適正利用を指導し、養殖衛生管理体制の整備を図る。	養殖・環境研究課/鈴鹿/尾鷲水産研	H15～
② 貝毒安全対策事業	貝毒による食中毒を防止するため、貝毒プランクトン出現動態と二枚貝毒化に関する知見の収集と蓄積を図る。	養殖・環境研究課	H18～
(31401) 高い付加価値を生み出す水産業の確立			
●持続的な水産物供給体制構築事業（水産資源課執行委任）			
10- ① 新規疾病対策	養殖魚介類の新規重大疾病(ヒラメクダア症等)について、種苗生産時の病原体保有検査や養殖管理指導を行い、蔓延を防止する。	養殖・環境研究課/尾鷲水産研究室	H24～
② 漁場環境適応型黒ノリ養殖業に向けた技術開発	三重県の漁場環境に適応した黒ノリ新品種の作出や製品の高品質化に取り組み、持続的な黒ノリ養殖業の実現を目指す。	鈴鹿水産研究室	H27～30
③ 環境とカラダにやさしい”海藻”の増産・安定供給技術開発事業	健康食として注目される海藻類の増産を図るため、ヒジキ、イトノリ類(ウスバアオリ)によるリスク回避型の海藻養殖技術開発を行う。	沿岸資源増殖研究課	H27～29
●資源管理体制・機能強化総合対策事業（水産資源課執行委任・三重県資源管理協議会委託）			
11- ① 三重県沿岸域における水産資源の資源評価体制構築事業	本県の沿岸水産資源の評価、漁船漁業の経営分析を行い、漁業者が取り組む資源管理の支援を図る。	企画・資源利用研究課/沿岸資源増殖研究課	H27～
●海女漁業資源増大対策事業費（水産資源課執行委任）			
12- ① アワビ放流効果向上事業	効果的なアワビ種苗放流マニュアルの定着促進と、コンクリート板を用いた新たな漁場造成技術導入による放流効果を把握する。	沿岸資源増殖研究課	H26～28
●三重ノリ生産・販売体制構築事業費（水産資源課執行委任）			
13- ① <u>(新規)伊勢産アサクサノリの特産化に向けた研究</u>	アサクサノリを本県の特産品とするため、安定した品質と生産量を確保するための養殖技術を確立する。	鈴鹿水産研究室	H28～30

フードイノベーション課執行委任

(施策31101) 新たなビジネス創出に向けた基盤づくり			
●みえの食バリューチェーン構築事業（フードイノベーション課執行委任）			
14- ① <u>みえの食バリューチェーン構築事業</u>	海藻等水産物の機能性成分の探索と機能性成分を活かした商品開発を行う。	企画・資源利用研究課	H27～31

水産基盤整備課執行委任

(施策31403) 自然と共生する生産性の高い水産業・漁村の構築			
●県単沿岸漁場整備事業費（水産基盤整備課執行委任）			
15- ① 熊野灘浮漁礁技術活用促進調査	浮漁礁設置海域周辺の流動環境、魚群の集積状況等を調査し、浮漁礁の効果的な運用・活用方法を検討するための基礎資料を得る。	企画・資源利用研究課	H24～
●海女漁業等環境基盤整備事業（水産基盤整備課執行委任）			
16- ① アサリ母貝場干潟造成効果評価事業	四日市市楠町地先に造成中の干潟と周辺域において、アサリの生息状況や生息環境を把握し、アサリ母貝場干潟の造成効果を把握する。	鈴鹿水産研究室	H26～
② 人工藻礁におけるヒジキ増殖に関する研究	ヒジキ藻礁の設置によるヒジキの資源増大を図るとともに、ヒジキに適した人工藻礁基質を検討する。	沿岸資源増殖研究課	H25～
③ アワビ稚貝場造成研究事業	天然アワビの発生を促進させる条件を検討し、天然アワビ稚貝の発生が多い漁場造成整備手法の開発を目指す。	沿岸資源増殖研究課	H24～
④ <u>(新規)アサリ稚貝移植システムの開発と実証</u>	伊勢湾南部の河口域に大量発生する稚貝の発生状況、移植好適地の選定、移植後の追跡調査を行う。	鈴鹿水産研究室	H28～